

現行の茅ヶ崎市住まいづくりアクションプランの構成

～湘南茅ヶ崎らしい様々なライフステージ
に応じた住まい方ができるまち～

住まいを取り巻く現状と課題（第2章）

1. 市の現状・2. 住宅の現状

○まとまりのある生活圏があり、“湘南”というイメージで対外的に知名度がある。

○平成32年頃をピークに人口が減少し、今後一層の高齢化が進むものと予測されている。

○一部で高齢化が進む地域があるが、全体的には持家戸建が多く、多様な世帯が居住している。

○昭和55年以前に建築された、耐震性などに不安のある古い住宅が比較的多く残る。

○空き家率は増加傾向にあり、住宅全体では10%だが、民間賃貸住宅では18.4%に達する。

3. 住まいの課題

課題1 超高齢社会への対応

課題2 市民・民間事業者・行政の連携

課題3 住宅戦略の構築

課題4 昭和40年代の住宅開発地などの地域の活性化

課題5 災害に強い住まいづくり

課題6 自然環境への配慮と地域とつながる住まいづくり

課題7 福祉分野と連携した民間賃貸住宅の活用促進

課題8 増加する空き家への対応

課題9 庁内の横断的な連携強化

基本的な考え方（第3章2）

1. ちがさき都市マスタープランの基本的考え方を尊重し、住まいという切り口から「みんなで作る 住み続けたいまち ちがさき」の実現に向けて、取り組んでいく。

2. 将来の人口減少期を見すえた、これからの住まいのあり方を検討し、取り組んでいく。

3. 地域活力の維持・形成と地域の個性や魅力を活かした都市づくりを推進し、持続可能な都市づくりに向けて取り組んでいく。

課題解決のための留意点（第3章1）

○「多様な世代」それぞれに視点をあてた住まいづくり

○市民が安心して居住継続できる住まいづくり

○茅ヶ崎の特性を活かした住まいづくり

○円滑な「住み替え」ができる住まいづくり

○さまざまな災害に強い住まいづくり

住まい・住まい方に係る将来像実現のための方針と取組（第4章）

方針1【安心して住み続けられる住まいづくり】 ～住まいと暮らしのセーフティネット*の構築～

取組1 高齢者など住まいの相談窓口と情報提供

取組2 地域包括ケア*、地域コミュニティ*と専門家が連携した住まいのセーフティネット*構築

取組3 既存ストック*の耐震化とバリアフリー*化の促進

取組4 住環境の保全と安全対策

取組5 特に高齢化が進捗する地区でのモデル的取組

取組6 公的賃貸住宅*の有効活用など

方針2【まちを活性化する住まいづくり、住んでみたいと思う魅力ある住まい・住まい方づくり】 ～「茅ヶ崎の住まい」制度の構築～

取組7 「湘南茅ヶ崎の住まい」ブランドづくり（住宅性能、環境性能などの指針）

取組8 「湘南茅ヶ崎の住まい」ブランドの普及促進

取組9 「(仮称) 住まい・まちづくりアドバイザー」制度の充実

取組10 住まい政策と庁内連携の強化

取組11 ライフステージ*に応じた住み替え対策の検討

方針3【民間と連携・協働した住まいづくり】 ～民間連携・協働のしくみづくり～

取組12 住宅供給に係る官民連携組織

取組13 官民連携による空き家情報収集と提供、利活用促進（地域コミュニティ*に資する施設）

取組14 民間賃貸住宅改善、建て替え支援

取組15 分譲マンション管理運営支援

取組16 「湘南茅ヶ崎の住まいと暮らし」のPR

取組17 市場を活用した住み替え対策の検討

プランの実現に向けて（第5章）

○市民・民間事業者・行政の住まい・まちづくりに取り組むマインドづくりの推進

○市の体制整備と「(仮称) 茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会」の設立

○「(仮称) 茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会」と連携した進行管理